

令和 2 年度 阿賀野市市政モニター意見・提言報告書に対する回答

1 安全・安心なくらしの実現に関するもの

◆小中学校におけるクマ出没時の対応の強化（より迅速な情報発信）

【回答】

市では、通報から発信までを迅速に行えるよう日頃から関係機関への連絡体制を整えておりますが、目撃者からの通報時間が遅くなった場合には、情報をタイムリーに届けられないことがあります。

そのため、クマの目撃や痕跡の確認をした際は、市または阿賀野警察署へ速やかに通報いただくよう周知の強化を図ります。

2 子どもの育成支援の充実に関するもの

◆京ヶ瀬地区における認定こども園、保育園の増設

【回答】

宅地造成により、京ヶ瀬地区の入園希望者が増加してきたことから、京ヶ瀬こども園では、利用定員を超えて最大限の受け入れを行い、京ヶ瀬幼稚園でも、平成 30 年度から「認定こども園」に移行し、未満児の受け入れを開始するなど、対応してきました。

今後、京ヶ瀬地区での更なる入園希望の高まりに対しては、京ヶ瀬幼稚園が利用定員に達していない状況であることから、保育施設の増設は行わず、京ヶ瀬こども園及び京ヶ瀬幼稚園で受け入れることとします。

◆子どものインフルエンザ予防接種助成の継続

【回答】

今年度のインフルエンザ予防接種助成は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの発症、同時流行を防ぐため、新型コロナウイルス感染症の緊急対策として実施したものです。従って、現時点においては、2 回分の全額助成を継続する予定はありません。

◆多子世帯に対する支援事業の創設・拡充

【回答】

以前は、年間6万円を助成する「紙おむつ助成事業」や、子ども医療費助成事業の対象期間の延長などの支援を第3子以降に限定して行っていましたが、現在は、各種事業の支援対象を第1子以降に拡大しており、これにより、結果として、多くの子どもを産み育てられる環境整備につながるものと考えています。

少子化に歯止めがかからない現状を見ると、子育て支援の更なる強化の必要性は十分認識しており、引き続き、事業の新設や拡充を検討していきます。

◆ふるさと公園の管理強化（草が多く、遊具で遊ぶにも入りづらいことがある）

【回答】

ふるさと公園の除草作業は、概ね毎月1回実施していますが、天候や地面の状況、他公園の除草状況により、時期が遅れる場合があります。適宜、現地確認を行い、適切な時期に除草ができるよう努めます。

◆児童虐待防止に関するPR強化

【回答】

令和2年4月に子どもへの体罰等が法律で禁止されたことを受け、市内の保育園や幼稚園、小中学校の保護者向けにパンフレットを配布するとともに、公共施設等にポスターを掲示し、普及啓発に取り組みました。また、コロナ禍により児童虐待の増加が懸念されたため、広報紙等で改めて相談窓口の周知を図ったほか、民生児童委員を対象に地域で見守る必要性についての研修会を実施しました。

今後は、市PTA連合会と協力し、保護者向けの普及啓発活動を強化していきます。

3 高齢者や障がい者福祉の充実に関するもの

◆自治会、民生委員、地域支え合い推進委員等が一体となった高齢者世帯等への支援の推進

【回答】

「支え合いの地域づくり」を推進するためには、地域支え合い推進員だけでなく、自治会、民生委員、市民、関係団体、行政が一体となって取り組んでいく必

要があります。そのため、市民フォーラムや自治会ごとの座談会を開催したり、民生委員協議会に地域支え合い推進員が出席し、意見交換を行ったりするなど、さまざまな活動を展開してきました。今年度はコロナ禍のため、集合的なイベントは開催できませんでしたが、引き続き、市民への啓発に努めていきたいと思えます。

◆若い世代への地域支え合いに対する意識啓発

【回答】

若い世代への意識啓発については、拠点の居場所（各地区のふれあい広場）でのイベント開催時に地域の子どもたちとの交流を図ったり、学生ボランティアを募るなどの働きかけを行ったりしています。また、小中学生への福祉教育や福祉体験、市民へのボランティア活動の情報提供や魅力の発信など、市と社会福祉協議会が連携し、幅広い年齢層への支え合いに対する意識向上に取り組んでいます。

◆自治会等で体操教室等を行う場合の移動手段の確保（少人数、短時間の送迎ボランティアの仕組みづくり等）

【回答】

市内の一部地域では、自治会の集まりに対してボランティアが送迎を行っており、拠点の居場所（各地区のふれあい広場）でも、ボランティアが自家用車で送迎を行っています。

しかしながら、ボランティア不足などの課題も多いため、身近な地域での支え合いとボランティアによる移送サービスの仕組みづくりに今後も取り組んでいきます。

4 地域経済の活性化に関するもの

◆道の駅のPR強化（いつ、何ができるか等、あまり知られていない）

【回答】

令和3年春頃に道の駅の名称募集を行う予定であり、その後において道の駅のPRを実施していくことを検討しています。

◆農地の集積・大規模化、区画整備の早期推進及び農業の担い手育成

【回答】

作業の省力化や担い手の確保・育成等を図るため、現在、5地区で、ほ場整備事業（県営工事）を行っています。当市を含め県内他地区の要望が増加しているほか、国・県・市の財政負担等から、事業化になるまで時間を要している状況がありますが、今後は、ほ場整備事業の推進のみならず、土地改良区と連携しながら別事業等にも取り組み、農地の集積・区画整備の促進を図っていきます。

また、担い手の育成については、農業経営開始後5年以内の50歳未満の方に対し、年間最大150万円の資金を最長で5年間交付する、農業次世代人材投資資金を活用するなどし、引き続き就農支援を行っています。

◆ふるさと公園を含めた阿賀野市立図書館の活用とPR（図書館内にカフェやレストラン等があれば人を呼び込めるのではないかな）

【回答】

市立図書館については、令和3年度に児童コーナーを充実させるなどして、サービスの向上を図る予定です。また交流スペースを設置し、湯茶の提供を行っています（新型コロナウイルス対策のため現在休止中）。今後は、カフェやレストラン等を含め、更なる魅力アップに向けたサービスを検討するとともに積極的な情報発信に努めます。

◆市内の観光施設や主要企業等を存続させるための取り組み（地域の賑わいや雇用、収益等を生み出す観光施設や企業がなくなれば、その影響は計り知れない）

【回答】

市では、商工会や金融機関等と連携し、融資や経営改善などの相談受付及び指導を行っているほか、県と連携し、平成29年7月に施行された地域未来投資促進法に基づき、国の支援制度を活用しながら、地域の特性を生かした成長性の高い事業に取り組む事業者への支援を行っています。

5 生活に密着した住環境整備の促進に関するもの

◆夜間の市営バスの運行（市営バスは午後6時台が最終になっていて、阿賀野高校生以外の高校生に利用できない）

【回答】

現在の市営バスの最終便は、市役所 18:35 発の分田線と五頭温泉郷線であり、どちらも新発田駅 18:14 発→水原駅 18:35 着の電車に合わせた運行ダイヤとなっています。

それ以降の電車に接続するバス運行については、19 時台、20 時台の駅の利用実態を把握した上で、車両や運転員の確保、運行経費等を考慮し、実現が可能か検討していきます。

◆水原駅および周辺道路における渋滞の解消

【回答】

水原駅の駐車場は、送迎用スペース 12 台（優先スペースを含む）と通勤通学に電車利用するためのパークアンドライド駐車場 63 台に分けられています。現在の利用状況を見ると、送迎用スペースに長時間駐車している車両があるため、看板設置などにより、駐車しないよう利用者に促します。

また、自転車小屋を撤去して駐車スペースにすることについても、利用状況や財政負担を考慮して検討します。

◆通学路における防犯灯の整備

【回答】

通学路は、防犯灯整備の必要性が高いと判断しており、優先的に整備を行っております。

次年度以降、自治会管理防犯灯の整備費を補助する「防犯灯維持・整備事業」について、LED化を促進するため、補助率の嵩上げを検討しています。

◆市民に対する除雪マナーの周知徹底

【回答】

例年、降雪期前には、広報紙等により、道路除雪作業時のマナーとして、敷地内の雪を道路に排雪しないよう協力をお願いしています。

引き続き、除雪マナーの周知徹底を図るとともに、マナーを守られないことで除雪作業に支障が生じたり、道路交通の妨げになると判断した場合は、自治会や関係機関等と連携して対応します。

◆大雪時における消雪パイプ整備道路の機械除雪の実施

【回答】

消雪パイプが整備されている道路は、原則として機械除雪は行いませんが、消雪パイプの故障や濁水等により消雪パイプの機能を果たしていない場合には、機械除雪を実施することとしています。

◆大雪時における除雪ボランティア等の仕組みづくり

【回答】

市では、自治会が高齢者等の避難経路を確保するために行う除雪ボランティア活動に対して補助する「高齢者等玄関先除雪助成事業」を実施しています。今後は申請事務の簡素化等を検討し、より使いやすい制度構築に努めていきます。

また、阿賀野市ボランティアセンター（阿賀野市社会福祉協議会）から指定を受けた除雪ボランティア団体があれば、ボランティア参加者にまちづくりポイント（あがのポイントカード加盟店での買い物などに利用できるポイント）を付与する「いきいきボランティア応援事業」により、活動参加の促進を図りたいと考えています。

◆京ヶ瀬体育館の屋根の修繕（新潟市から阿賀野市に向かって見える山並みがきれいなのに、京ヶ瀬体育館の赤茶けた屋根で景観が損なわれる）

【回答】

市の体育施設は、ほとんどが合併以前に建設されたものであり、経年劣化による修繕を要する施設が増えています。京ヶ瀬体育館の屋根の修繕についても、今後、公共施設全体の再編計画を踏まえ、中・長期的な展望を持って計画的に対応していきます。

◆ごみ処理券（シール）方式の継続

【回答】

ごみ処理券（シール）を継続するか、指定ごみ袋に変更するかの選択は、ごみの排出量や処理費用等に関わるものであるため、今後ご意見を聴取しながら判断していきます。

◆ごみ収集カレンダーの様式の見直し（新潟市のような通常のカレンダー方式が良い）

【回答】

令和3年度中に、他市町村の様式も参考にしながら、新たなごみ収集カレンダーの試作版を作成し、市ホームページに掲載して、ご意見を求めたいと考えています。

◆ごみ収集日の平等化（月曜日は祝日が多いため、月水金の地区と火木土の地区で収集回数に差がある）

【回答】

令和2年度の祝日及び振替日の日数は、月水金が8日、火木土が7日ですが、このうち、月水金は3日、火木土は1日の臨時収集日を設けたため、ごみを収集しない日数は、月水金が5日、火木土が6日とほぼ同数となっています。

今後も、可能な限り収集回数に差が生じないように収集日の設定を行っていきます。

◆今板、村杉、大日地内のインターネット環境の改善（通常的光回線への変更）

【回答】

村杉局管内のインターネットサービスについては、現在は、マンションタイプとして市が運営する方式となっておりますが、令和3年度中を目途に、NTT東日本が運営する通常的光回線（ギガラインタイプ）に切り替えることとして取り組みを進めています。

6 市民協働の推進に関するもの

◆ボランティア情報のPR強化（市のボランティア情報がどこに掲載されているか分からない）

【回答】

ボランティア活動に参加できる体制整備と地域ボランティア活動の推進を図るため、阿賀野市社会福祉協議会にボランティアセンターが設置されており、同センターでは、毎月1回、「ボランティア通信」を発行し、全世帯に配布しているほか、ホームページでも情報提供を行っています。

市としましては、このたび提案のあったボランティア募集の掲載方法の改善

などについて同センターに協議するとともに、市の広報媒体を活用した周知にも努め、市民のボランティア活動を応援していきます。

◆A P Oカードの利便性の向上促進（利用できる店舗の追加、ポイント失効期間の延長、磁気によるカードへのポイント失効日の表示など）

【回答】

A P Oカードについては、あがのプラット株式会社が提供するサービスとなります。令和3年度中に、あがのプラット株式会社と協議を実施し、利便性向上（カードの仕様変更等）に係る対応の可否を含め、地域ポイントカード事業の見直しに向けた検討を進めることとしています。

7 信頼される行政経営に関するもの

◆市役所内の総合相談窓口の設置（病院には何科を受診すればいいかわからないときに相談できる総合案内がある。市役所にも同じような窓口があるといい）

【回答】

市役所本庁の正面玄関を入ってすぐの場所に総合案内窓口を設置し、職員1名を配置しています。なお、当該職員が不在の時間帯（午前8時30分～9時、午後12時～1時、4時～5時15分）については、1階 市民生活課窓口で対応します。

◆職員のマスコミ等対応スキルの向上

【回答】

観光施設等については、テレビなど、マスコミの突発的な訪問にも対応できるよう職員教育を実施します。また、会計年度任用職員等（正規職員以外）でも最低限の説明ができるよう対応マニュアル等を整備します。

なお、マスコミ対応は、原則として、所属長が対応することとしています。

◆阿賀野高校内の居場所カフェに対する支援

【回答】

阿賀野高校内の居場所カフェは、県内の全日制高校で初めての試みであり、団体が今後運営を継続していくに当たり、ボランティア募集や活動の周知といったPR支援が必要であれば、できる範囲で協力したいと考えています。

◆市役所における新型コロナウイルス職場内クラスター発生防止対策の徹底
(市役所1階の執務状況を見ると、対策はとっているものの、机の間隔を広げたり、人員を別室に移動したりしておらず、春とほとんど同じである)

【回答】

限られたスペースで職務を行っているため、机の間隔を広げることや、別なスペースで業務を行うことは難しい状況です。

マスク着用と手洗いを徹底するほか、職場内の消毒、風邪症状など感染が疑われる職員の出勤停止などを引き続き実施していきます。